

「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」が避難の三原則です。自分の感覚を信じて避難を始めましょう。

171 **でんわをかけて あんぴかくにん**

「災害用伝言ダイヤル(171)」は、災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に利用できる声の伝言板です。文字で届けるweb171もあります。体験利用日に試してみましよう。

うそむいておちてきぞうなものどけて

震度5以上の地震になると、棚においてあるものが落ちたりして危険です。重いものは棚の上ののせないなど、普段からの対策が大切です。

液体ミルク ライフラインが途絶えたとときにやくにたつ

液体ミルクは調乳済みなので、哺乳瓶に移し替えればそのまま赤ちゃんにあげることができます。災害時の備蓄として導入されている自治体もあります。

おやごできめよう 約束のぼしょ ひなんばしよ

家族と離れているときに災害が発生しても、全員が無事でいられるようにどこに避難するのかなど、災害時の行動について家族で話し合っておきましょう。

かつての風水書と 疫病退散祈願祭 人身御供の一夜官女祭

かつて、野里村は「泣き村」と呼ばれるほど、風水書や疫病に見舞われた時代がありました。「乙女を神に捧げよ」という神の託宣で少女を人身御供として唐櫃に入れ、神社の池のほとりに置いてさせたという伝説があります。一夜官女祭はその伝説を伝えるものです。

きこえますか? ぼつさいむせん

防災行政無線は行政が住民へ防災情報を伝達する無線通信システムです。防災行政無線の音声聞き取れなかった場合、放送された内容を電話で確認することができます(詳しくは西淀川区防災情報ホームページへ)

くわらつときたら つくえの下にかくれよう

地震時には、転倒落下物が少なく閉じ込められない安全ゾーンに移動し、身の安全を確保します。耐震性の高い建物にいる場合は、机の下が安全ですが、耐震性の低い木造の建物では机の下に隠れると逃げられなくなるおそれがあります。

警報でるかも 天気予報を要チェック!

気象庁では、早めに防災行動をとることができるよう、「防災気象情報」を発表しています。天気予報をチェックして、台風や大雨に備えましよう。

じぶもどいつじゅに ぼつさいくせれん

子どもを災害から守るために、子どもと一緒に防災訓練をして、災害時の状況をシミュレーションしてみましよう。

サバイバル もしもにそなえて やつてみよう

キャンプなどアウトドアの体験は防災にも役立ちます。もしもに備えてサバイバル体験をやってみましよう。

つってると? 川にかこまれたにじよどがわく

西淀川区は、三方を神崎川と淀川、大阪湾に囲まれています。そのため、台風や洪水といった水害の被害が繰り返し起こっています。

すこしの ゆだんが 命とり

人間は誰もが「自分だけは大丈夫」と信じる本能があります。災害時には油断せずに、命を守る行動をしましよう。

せめないで 災害時じぶももちひなも心が不安定

災害時は子ども大人も心が不安定になります。被災によって生じる不安は正常な反応です。傷ついた人に寄り添ったり、子どもにはスキンシップを増やしたりして、安心感を与えましよう。

そなえよう! じしんかみなりかじつなみ

怖いものは、「地震・雷・火事・おやじ(暴風のこと)」「でしたが、津波が加りました。南海ト

ラフ巨大地震が起ると、西淀川では津波により最大で2万人の死者が発生すると言われています。

たしかめよう ひなんけいろ

避難場所までの経路にブロック塀等危険箇所がないか日頃から確認しましよう。

チェックしよう 家具の耐震補強

地震時にたんすなどの家具が転倒すると、怪我をしたり、逃げ道がなくなったりして危険です。家具を固定したり配置を工夫したりしましよう。

通学路 安全確認 今すぐに!

災害時に通学路が安全か、子どもと一緒に歩いて確認しましよう。ブロック塀、石垣、狭い路地などをできるだけ避けることが大事です。

停電のシミュレーションは 室内キャンプ

地震・台風などによって停電が発生した場合、復旧まで時間がかかることがあります。停電に備えて、電気を使わない「室内キャンプ」を家庭でやってみましよう。

ドーン! まわりをみて 高台へ

海溝型の地震は津波を起こします。できるだけ早く、高台に避難しましよう。

なんでやる? マイナス多いね 西淀川区の海拔は

西淀川区は、地下水の過度なくみ上げによる地盤沈下で区域全体が0メートル地帯となっており、水害が発生しやすいなっています。

西淀川区 ひごろから 防災声かけ すてきな町

(※災害時一人も見逃さない運動)
西淀川区では「災害時に一人も見逃さない」を合言葉に、独居老人宅を訪問し、要援護者リストの整備と災害福祉マップの作成をしています。日頃から声をかけあうことが災害時の助け合いにつながります。

ぬけめなく チェックしよう 防災リュック

人によって災害時に必要なものは異なります。一人ひとりで防災リュックを用意しましよう。

猫砂は 非常用トイレにつかえるよ!

断水した時に困るのがトイレです。凝固剤などで固める災害用トイレが市販されていますが、新聞紙や猫砂などでも代用できます。

のみこまれた 外島保養院の 悲劇を忘れない

室戸台風の直撃による高波によって、中島にあった公立のハンセン病療養所「外島保養院」が壊滅し、一瞬にして187人の命が奪われてしまいました。現在は記念碑が建立されており、毎年、犠牲者追悼行事が行われています。

ハザードマップ わが家はどこ? やつてみよう

災害が発生した時に危険と思われる箇所や避難場所などをまとめた地図が「ハザードマップ」です。ハザードマップに自宅やよく行く場所をマークしながら、災害時の危険度を確認しましよう。

ふだんから 一つ多めに買ってローリングストック

ふだんから少し多めに食料、日用品を買っておき、使ったら使った分だけ買い足すことで、常に備蓄しておく方法がローリングストックです。消費と購入を繰り返すことで食料の鮮度を保ち、いざという時にも日常に近い生活を送ることが出来ます。

ひなんくんれん いざというときやかくらつ

いざという時には普段やっていることしかできません。頭だけで理解するのではなく、実際にやってみて体で覚えましよう。

ふだんから 一つ多めに買ってローリングストック

ふだんから少し多めに食料、日用品を買っておき、使ったら使った分だけ買い足すことで、常に備蓄しておく方法がローリングストックです。消費と購入を繰り返すことで食料の鮮度を保ち、いざという時にも日常に近い生活を送ることが出来ます。

塀はあぶない! ちがづくな! (※地震のとき)

大阪府北部地震では、ブロック塀が倒れ、通学中の女児が亡くなりました。地震時にはブロック塀や看板などが転倒する恐れがあります。外で強い揺れを感じたら、ブロック塀などから離れましよう。

防災訓練 家でもやろう

感染予防のため、集団の防災訓練の実施が困難になっています。家庭で防災訓練をやりますよう。

満タンは ガソリン 充電 風呂の水

災害時にはライフラインが長期間停止することがあります。携帯電話等の充電を満タンにしておくほか家用車のガソリンを満タンにしておくこと安心です。また、お風呂の水は火災発生時の消火、洗い物などに利用できます。

みんなでまもううだ いじないのち

阪神淡路大震災で一番多くの人命を救助したのは地域の住民による共助でした。みんなで助け合って命を守ることが災害時には大切ですよ。

むかしわざと堤防を 切って洪水排水を 淀川にもどした「おおつかざれ」(※浸水した土地より淀川の水位がひくくなったため)

大正6年、連日の豪雨により、高槻市大塚の堤防が決壊し、高槻から下流の一带が泥海と化しました。福村は1ヶ月に渡り浸水し、浸水した土地より淀川の水位の方が低くなったので、排水のため、やむなく淀川堤防を「わざと切り(切開)」しました。

めぞうつよ 手を取りあつて災害死ゼロ

災害を食い止めることはできませんが、みんなで力を合わせて被害をできるだけ小さくすることは出来ます。家族、身の回りの人たち、行政などと協働しましよう。

もういつかい かくにんしよう ガスのせん

阪神淡路大震災では、火事が多発しました。地震の揺れがおさまったらガスの元栓を閉めましよう。

やつてみよう! 手回し式充電で けいたいラジオ

手回し式で充電できる携帯ラジオは乾電池がなくても使えますが、充電できるまで労力と時間がかかります。1分間回した時に何分間使用できるのか、事前に確認しておましよう。

湯じゃなくて 水でももどせる カップめん

カップ麺は、水で戻して食べることが出来ます。戻し時間は20〜60分。細麺の方が早く戻せます。

より高くより高く にげろ! 津波から

南海トラフ巨大地震が発生した場合、西淀川区の多くが2メートル以上浸水します。津波避難ビルなど、堅固な建物の3階以上に避難しましよう。

ラップは役立つ 止血やロープや 紙血に

出血した場合に止血したり、くるくるとまとめてひもの代用にしたり、紙血にラップを巻いて食器を洗う水を節約したりと、災害時にはラップは様々な用途に使えます。

利用しよう 災害時につかえる 無線LAN

大規模災害時には、公衆無線LANサービス「1000JAPAN(ファイブゼロジャパン)」が無料で開放されます。パスワード不要で、誰でもスマートフォンやタブレットからインターネットに接続できます。

留守番中 災害が来てもだいいじようづつ

子どもだけで留守番中に災害が起きた場合、どのような行動をとったらよいのか家族で話し合い、実際にやってみましよう。

れいわになつても つたえたい 西淀川の災害の歴史

西淀川区は過去に多くの水害や地震など、多くの災害によって被害にあっています。過去の災害の経験や教訓を伝えることによって、生活の中の防災につなげましよう。

ロープは役立つ パラコードプレスレットにして ぷだんからかばんに

パラコードは強度が強く様々な用途に使えます。編んでプレスレットにして、ぷだんからカバンにつけておましよう。

わすれずに ベランダ ものほし かたづけて

台風や暴風雨の予報が出た時には、ベランダを片付けましよう。物干竿など思わぬ物が飛んで危険です。

水「を」かくほー ひんせいで 十四リットル

飲料水は一人あたり1.5リットルから2リットルが必要ですよ。できれば7日分、最低でも3日分の飲料水を確保しましよう。

う「ん」う「ん」 うなづひんへ にじよど親子防災部

「うなづひん」親子防災部は「生活の中に防災を」を合言葉に、防災について気軽に相談したり、勉強会をしたりしているゆるやかなネットワークです。ぜひ参加を!

